

令和 7 年 6 月

## 橋本市教育委員会定例会会議録

令和 7 年 6 月 24 日

## 教育委員会定例会会議録

開催日時 令和7年6月24日(火) 午前9時30分～

開催場所 教育文化会館 4階 第5展示室

出席者 教育長職務代理者 吉田 元信  
委員 田中 敬子 簗下 純男 中下 小夜  
教育長 今田 実

出席職員 教育部長 岡 一行 教育総務課 課長 丸山 恭司  
学校再編推進室 室長 家田 郁久 学校教育課 課長 川原 一真  
生涯学習課 課長 長谷川 典史 中央公民館 館長 井上 恵二  
参事 阪口 浩章 学校給食センター センター長 梅本 準  
教育支援センター  
指導主事 太田 敦久

- 1 開会
- 2 前回会議録の承認について
- 3 会議録署名委員の指名について
- 4 報告事項  
報告第1号 教育状況について  
報告第2号 橋本市青少年補導員の委嘱及び任命について
- 5 閉会

開会 午前 9 時 30 分

教育長 おはようございます。これから令和 7 年 6 月定例会を開会します。  
本日の出席委員は 5 名です。

前回の会議録の承認について、簀下委員お願いします。

簀下委員 会議録は的確に記載されていました。

教育長 ありがとうございます。  
次に今回の会議録署名委員は中下委員をお願いします。

中下委員 はい、承知しました。

教育長 報告第 1 号教育状況について、私から報告します。  
はじめに、少年メッセージ 2025 伊都地方発表大会について報告します。  
一昨日、教育文化会館大ホールで、伊都地方の中学校から 21 名の生徒が各学校の代表として参加して行われました。橋本市立の中学校からは、各学校 2 名、計 10 名の生徒が日ごろから課題意識を持っているテーマについて自分の考えをまとめ、表現力豊かに発表されました。  
テーマを紹介すると、障がいのある兄弟のことについて向き合う中で感じていること、本好きになったことで感じている本の魅力、祖父が仕事としている伝統的工芸品のヘラ竿づくりから学んだこと、ヘアドネーションの必要性に対する考え方、自分の性格についてどのように向き合っているかなど、多感な中学生の時期だからこそそのテーマであると感じたところです。また、自分の思いを表現する言葉を精選し、気持ちを込めて音声言語として表現されたメッセージを聞き、道徳や学級会活動での学び、教科における学びがあいまった成果を感じることができました。21 名の中から、優秀賞 2 名、奨励賞 3 名、審査員特別賞 1 名、計 6 名が選ばれました。講評に当たった審査委員長からは、「生徒のメッセージは、中学生からのメッセージではなく、未来の大人からのメッセージである」と言われたところが私の思いと重なったところでした。中学生からしっかりと今の大人が学ばなければならないことがたくさんあると思います。例えば、最近のメディアから、人生のベテランの域にある方が失言した、また不適切な行動をとったなどという報道が流れてきます。時代が変わってきていることに対し、自分をブラッシュアップしていくことの大切さを感じました。

次に、部活動の地域展開についての本市の取組状況について報告します。

今年度、教育総務課に「部活動の地域展開」担当職員 1 名を配置しました。4 月から、他市等の先行事例の情報収集、橋本市立中学校の部活動の状況調査、部活動の地域展開への教職員の意識調査、内部関係職員での情報共有等を行ってきている

ところです。昨日は、国の動向も含め、確かな情報を共有し、今後の地域展開に向けた連携を図っていくことを目的に、県教育委員会事務局健康体育課の指導主事を招聘し、教職員を対象に「部活動の地域連携・地域移行（地域展開等）について」説明会を実施しました。来週の月曜日には、橋本市において部活動の地域展開を進めていくうえで連携を図っていかなければならない地域関係者を対象とした説明会を、教職員対象とした勉強会と同様の講師を招聘し開催する予定です。このような場を重ね、橋本市の地域展開に向けた現状を正確に把握していくとともに、今年度中に部活動地域展開検討委員会を立ち上げ、議論を深めていきたいと考えています。

次に、岡潔数学体験館講演会について報告します。

昨年４月に開館した岡潔数学体験館ですが、１年間で、約２４００名の方に体験館事業に参加していただいたり、体験館に来館いただいたりしました。

今年度も事業展開計画を基本としつつ、来館いただいた方、体験館事業に参加された方に喜んでいただけるよう準備を進めていきたいと考えています。

その中で、今年度の岡潔数学体験館講演会を別添資料のとおり７月１２日に開催します。名古屋大学名誉教授、大沢健夫氏から「岡潔に魅せられた日々」と題し、大沢名誉教授の座右の書である「春宵十話」や「紫の火花」などを読み返しながら、見聞きされたことを中心に、岡先生にまつわる話をさせていただきます。

委員の皆様にも、ぜひ参加いただきますようお願いします。

以上で教育状況について、報告を終わります。

このことについて、ご質問ご意見はありませんか。

田中委員

部活動の地域連携・地域移行についての勉強会を教職員対象にされたということでしたが、説明されてご意見があったのかどうかはわかりませんがどんなご意見があったのか気になったので、もしよかったら教えていただきたいと思います。

教育部長

一つは、現職の先生から今日の説明会の内容は、どのように捉えたらよいのかという率直なご意見がありました。聞き置きとして捉えたらよいのか、今すぐ私たちがどうやって、誰がリーダーシップを取って、これを展開していくのか素直なものがありました。

他市の状況も講師の方が、地域展開のイメージ図を示されたんですけど、今すぐ学校の部活動を地域にすぐに手渡すというわけではなく、一定のエリアで共同体でやっていくような趣旨のことについてのご質問がありました。

田中委員

きっと先生方も初めてで、色んな意見が細かいことまで、ちょっとわからなかったのかなと思うのと、私自身も少しそういったことを今後検討していくのであれば、内容があまり実際の声とか現場をわかっていないので、またそういったことも教えてもらえたら、その時々、随時教えていただけたらと思います。

教育長

先ほども来週の月曜日に地域の方へこういう学びの場を行うことをお伝えさせていただいたんですが、そこに出席いただいた方々も、どういったイメージで捉えているのか、そこに参画してくれる可能性はあるのかなのか、そういった情報が私たちのところに今、現在必要とされています。そういった情報を集める中で、今後どういうふうな展開をしていくことが可能なのかということを、また内部で検討していきたいと思いますが、一定情報が集まってきたら、このような形で、今後進めていきますというのは、この場でも報告できるかと思っております。その時はよろしくお願いします。

吉田委員

中学生の、そのメッセージの発表会で優秀賞2名、奨励賞3名、審査員特別賞1名ということで、6名の人達が表彰されたということですが、優秀賞の2名の方の内容はどういうことに触れられたメッセージか、聞かせていただきたいと思います。

教育長

2名の方のテーマは、1人目は「諦めないこと」が演題で、自分が中学校に入ってから陸上をしたいと心の中で決めたけれども、進学先の中学校には陸上部が存在しなかった。そこで、周りの色々な人達に働きかけて、先ほどの部活動の地域展開の話と繋がってくるのですけれども、そういった形での学校での部活動ではなくて、地域の人達に、陸上部を指導していただけることに繋がって、3名からスタートしたんだけど、今では20数名まで広げていくことができた。自分の思いを諦めずに実現するために自分が働きかけていくことによって、道が開けていったという内容の話をされました。

もう1人の方は、「私からはじまる大きな一歩」というのが演題ですけれども、内容としては、子どもの頃、よく兄弟のお下がりの服を着たりしていたと、それでどうなんかなって思いを持っていた。けれども服が日本で色々不要になったものが最後どんな風にして、使われているのかと、実際に調べていく中で見聞きしたりする中でわかったことから、無駄に捨てられている。それは今、私たちがSDGsで取り組まなければならないテーマの1つ。結局は、そのお下がりというのを嫌だなと思っていたけれども、お下がりということからも良いことをしてきているそのような思いに至ったという話をしてくれました。「衣類の墓場」という言い方をしていました。そういった所に行く衣類っていうのは、本当に無駄な話なんだと皆に伝えてくれました。以上です。

吉田委員

どうも、ありがとうございました。

田中委員

どのテーマも、それこそ素晴らしいテーマで子どもたちの言葉で伝えられているので、きっと子どもたちにも届きやすいのかなと思うのですが、こういったものは、例えば各小学校や中学校で、目に触れるような所に置いておかれるとかのご予定はありますか。せっくなので、皆読めるような機会があったらいいと思うのですが。

教育長

はい、具体的には、この優秀賞に選ばれた2名については、県の大会でまた発表する機会があります。今年度は、那智勝浦の方で大会だというふうに聞いています。

昨年は、橋本伊都地方から選ばれた生徒が、県の大会でも一番になり、そして全国大会に行った実績があります。全てではないんですが、青少年育成の方々が、優秀な作品については、披露する場っていうのを設けてくれています。できるだけ色んな所で子どもたちの思いを直接、周りの人達が聞ける場っていうのは考えていてくれています。全員の作文を広めるというかご紹介する場っていうのは、ちょっと今のところはないのかなと思いますが、私、21名の話を知っている中で、子どもたちの中に育っていった感覚は、人権感覚の鋭さ、それと、SDGsで示されている17の目標がありますよね。そういうものに対する思いは、かなり出てきています。学校で学んでいることが、こういった子どもたちの表現する言葉として、考えとして出てきているというのは、学校教育の大きな成果と感じたところです。私も機会があれば、是非紹介していきたいと思って、今回もここで紹介させてもらいました。

他にないでしょうか。

中下委員

先ほどのご報告「少年メッセージ2025伊都地方発表大会」について、報告聞かせていただいて、感じたことをお伝えさせていただきます。やはり今の子どもたちは、言葉で自分の思いを伝えるのがとても苦手なお子さんもいる中で、こういう大会を持っていただくことで、様々な思いとか考えを聞きあう中で、先ほど言われた通り、色んな価値観、人権意識だったり環境問題だったり、触れることで自分の価値観も高められて、多様性というのを身に着けられる良い大会だと感じさせていただきました。審査委員長さんのお言葉をお借りして「未来の大人」という部分の、自覚っていうか、そういったものを子どもたちが持ちながら、様々な場所で、これからも発信し続けられる大人に育ってほしいなと思いました。

また、そういう県の大会とかありましたら、また教えていただけたら、また聞きに行かせていただきたいと思います。以上です。

教育長

ありがとうございます。

子どもたちの読解力のことが問題視されていますが、私は、子どもたちの読解力の問題っていうのが、子どもたちの表現力ということと、すごく関係していると思っています。世間の中では、例えば自分の感情を表現する言葉として、的確な言葉ではなくて、色んなことに捉えられるような言葉、これは例を出していいのかどうか別な話なのですが「ヤバイ」という言葉がありますよね。良い面にも使われるし、駄目な面にも使えるし、色んなところで使っているんだけど、本当にその子はどんな思い、どんな気持ちでいるかということを、表現した言葉ではないんですよね。ということは捉える側も、この子はどんな気持ちなんだろうということを捉え間違えることがあって、そのことが元でトラブルになったり、相手のことを理解することに繋がらなかったりがあります。ですから、読解力を育てるということは、自分の思いを的確な言葉で伝えられる。主語、述語、目的語が、はっきりした文章で表現

できる、そういったところの基本的なところが関係している。だから、学校では授業で使う先生の言葉っていうのが、すごく大事にされるところから読解力の向上っていうのは、図られると思っています。機会を捉えて、これは橋本市立の先生方には、私の思いとして伝えていきたいと、そんなふうに思っているところです。

他にないでしょうか。ないようですので、これで報告第1号を終わります。

次に報告第2号に入ります。

報告第2号「橋本市青少年補導員の委嘱及び任命について」報告をお願いします。事務局から、説明願います。

教育支援センター  
指導主事

報告第2号令和7年度橋本市青少年補導員の委嘱及び任命について報告します。  
添付資料2-6の橋本市青少年補導員規則第2条、3条に基づくもので、関係機関、各学校からの推薦をいただきました。一般補導員79名と県立学校、私立学校教員14名に委嘱状を、橋本市立の小中学校教員51名に任命書を、7月3日に開催する橋本市青少年補導員会総会で交付します。なお補導員一覧表2-3の48番と2-4の87番の土田教諭が、それぞれの学校から別途に推薦を上げられて重複しておりますので、この土田教諭につきましては、任命書を交付することにいたします。

また、総計144名の方々に補導員証を交付します。

任期は令和7年7月1日から令和8年6月30日の1年間となります。

以上でございます。

教育長

報告が終わりました。このことについて、ご質問、ご意見はありませんか。  
ないようですので、これで報告第2号を終わります。

次にその他の協議事項に入ります。まず委員の皆様からありませんか。事務局からありませんか。

続いて連絡事項に入ります。まず委員の皆様からありませんか。次に事務局からありませんか。

教育総務課長

よろしくお願いします。お手元にお配りしております連絡事項等についてになります。まず会議の日程でございます。教育委員会議の定例会でございます。7月は、令和7年7月29日(火)午前9時半から、教育文化会館4階第5展示室です。8月につきましては、8月26日(火)午前9時半から、同じく4階第5展示室でございます。9月なんですけれども、通常は火曜日なんです、9月23日(火)がお休みになりますので9月25日(木)で予定をしております。9時半から場所はこの場所になります。

もう一件です。続きまして、令和7年度の教育委員研究協議会、この6月26日でございます。午後1時から午後4時40分までの予定になっております。お手元

にお配りしている資料の方でグループ分けがされております。色々、ご希望を聞かせていただいたのですが、本部の方でこのオンラインのテーマ、割り振りが決まってきましたので、こういった形でグループ協議の方をお願いしたいと思います。

またミーティング ID、パスワード、資料につきましては、またメールで送らせていただければと思います。よろしくお願いいたします。以上でございます。

教育長

予定方よろしくお願いいたします。

他にありませんか。ないようですので、以上で6月定例会を閉会します。

閉会 午前9時56分

署 名 委 員